

ひらしか

第3回 景気動向レポート

2012年7~9月期

【概要】

調査時期 平成24年9月上旬
 調査地域 平塚市、厚木市、相模原市、大和市、伊勢原市、秦野市、座間市、海老名市、茅ヶ崎市、高座郡、愛甲郡

全調査先 当金庫取引先 319先
 回答先数 当金庫取引先 298先
 (内訳) 製造業:60先
 卸売業:19先
 小売業:43先
 サービス業:69先
 建設業:78先
 不動産業:29先

回答率 93.4%

【調査方法】

当金庫職員による面接聞き取り方式、または、調査先による直接記入・回収方式

【分析方法】

DI(Diffusion Index)

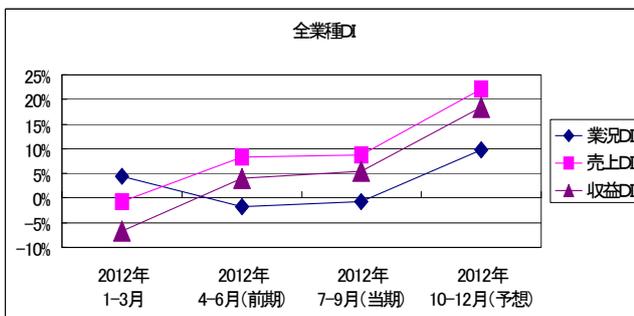
DIとは、各質問項目に対して「良い(増加・上昇)」と回答された企業の割合から「悪い(減少・下降)」と回答された企業の割合を差引いて算出した指標です。

DIがプラスであれば上向き、0であれば現状維持、マイナスであれば下向きというように判断できます。

【全業種】

全業種では、販売価格DIは7-9月期▲4.0⇒10-12月期▲4.7、資金繰りDIは7-9月期▲3.0⇒10-12月期▲4.7と悪化見込みとなったものの、売上DIは7-9月期8.7⇒10-12月期22.2、収益DIは7-9月期5.4⇒10-12月期18.5となり、ともに来期は大きく改善する見込みとなったことから、業況DIは7-9月期▲0.7⇒10-12月期9.7と前期から一転して業況が改善する見込みとなりました。

業況DI・売上DI・収益DI(全業種)

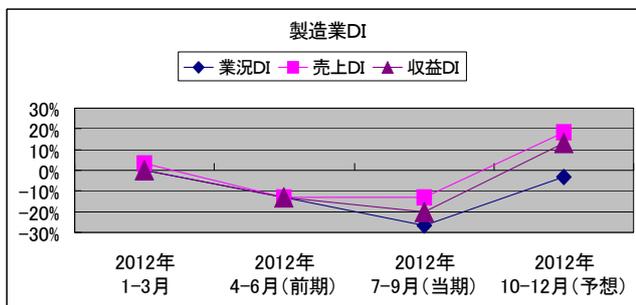


業況DIの推移(業種別)

	4-6月期(前期)	7-9月期(当期)	10-12月期(予想)
製造業	▲13.3	▲26.7	▲3.3
卸売業	0.0	▲5.3	15.8
小売業	▲6.8	▲2.3	4.7
サービス業	7.4	15.9	11.6
建設業	▲7.5	9.0	15.4
不動産業	25.9	▲6.9	20.7
全業種	▲1.7	▲0.7	9.7

製造業

DIの推移



【業況DI】

業況DIは、対前期比▲13.4ポイントの▲26.7となりました。取引先企業の県外移転や円高といった不安要素の影響からマインドが低下し、2期連続での悪化となったようです。一方、今後の業況DIは、対当期比+23.4ポイントの▲3.3と大幅な改善を見込んでいます。

【売上DI】

売上DIは、対前期比±0.0ポイントの▲13.3となりました。受注残DI及び販売価格DIが上昇したものの、昨年同期比売上額判断DIが低下しており横ばいとなったようです。一方、今後の売上DIは、対当期比+31.6ポイントの18.3と大幅な改善を見込んでいます。

【収益DI】

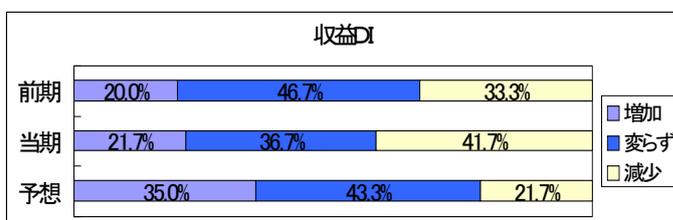
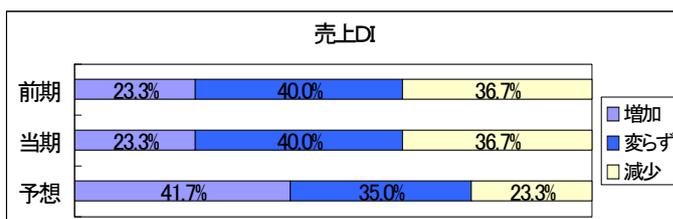
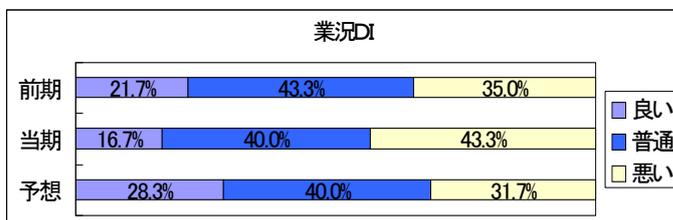
収益DIは、対前期比▲6.7ポイントの▲20.0となりました。原材料価格DIが低下し収益DIのプラス要因となったものの、昨年同期比収益判断DIが低下しており悪化となったようです。一方、今後の収益DIは、対当期比+33.3ポイントの13.3と大幅な改善を見込んでいます。

【経営課題・重点施策】

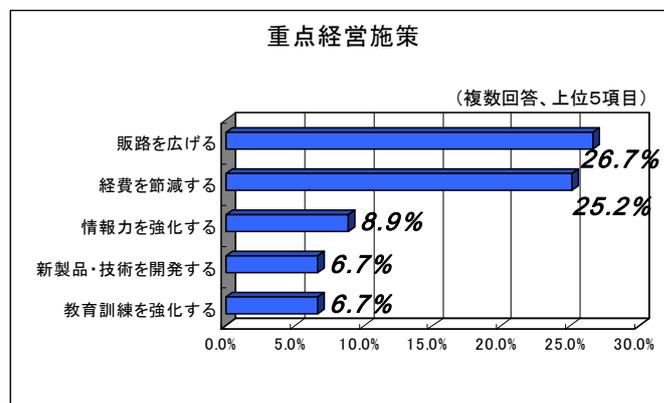
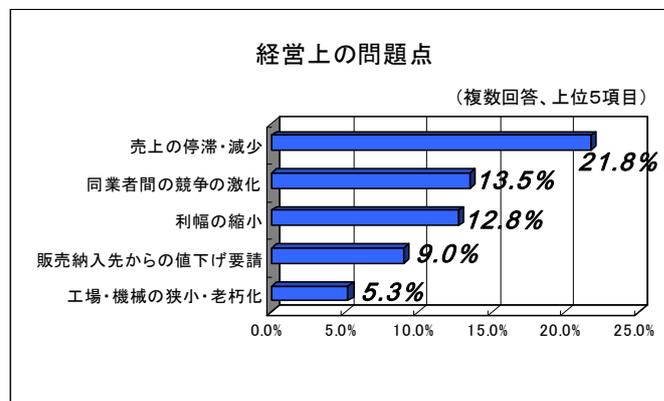
経営上の問題点として挙げられたのは「売上の停滞・減少」が21.8%と最も多く、次いで「同業者間の競争の激化」13.5%、「利幅の縮小」12.8%、「販売納入先からの値下げ要請」9.0%、「工場・機械の狭小・老朽化」5.3%の順番となりました。

当面の重点経営施策として挙げられたのは「販路を広げる」が26.7%と最も多く、次いで「経費を節減する」25.2%、「情報力を強化する」8.9%、「新製品・技術を開発する」「教育訓練を強化する」ともに6.7%の順番となりました。

DIの構成

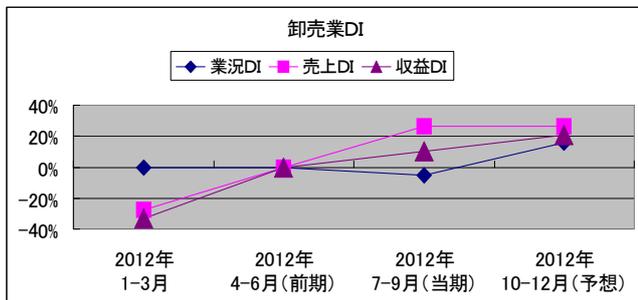


経営課題・重点施策



卸 売 業

DIの推移



【業況DI】

業況DIは、対前期比▲5.3ポイントの▲5.3となりました。売上DI・収益DIがともに2期連続で改善となったものの、昨年同期比売上・収益の低下マインドがそれを上回って影響したことから、全体での景況感は悪化したようです。一方、今後の業況DIは、対当期比+21.1ポイントの15.8と大幅な改善を見込んでいます。

【売上DI】

売上DIは、対前期比+26.3ポイントの26.3と2期連続での改善となりました。販売価格DI及び昨年同期比販売価格DIがともに上昇しており大幅改善となったようです。今後の売上DIは、対当期比±0.0ポイントの26.3と横ばいを見込んでいます。

【収益DI】

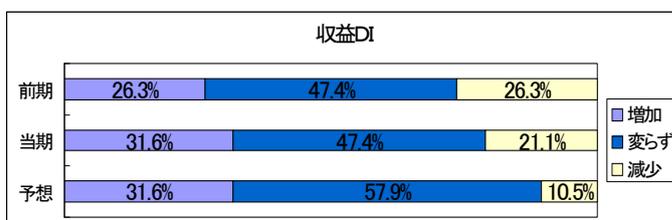
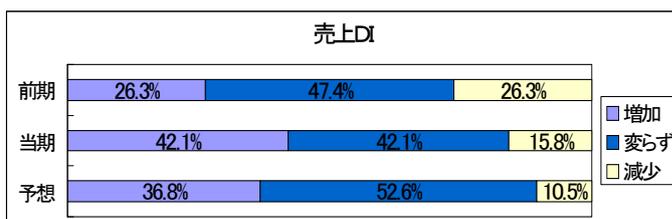
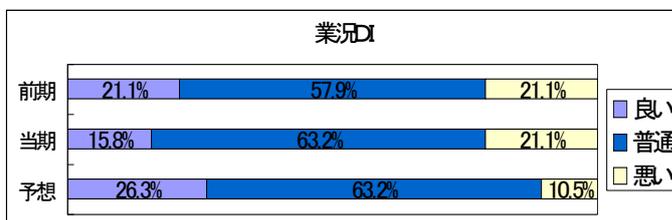
収益DIは、対前期比+10.5ポイントの10.5と2期連続での改善となりました。売上DIの改善及び仕入価格DIの低下から改善となったようです。今後の収益DIは、対当期比+10.6ポイントの21.1と改善を見込んでいます。

【経営課題・重点施策】

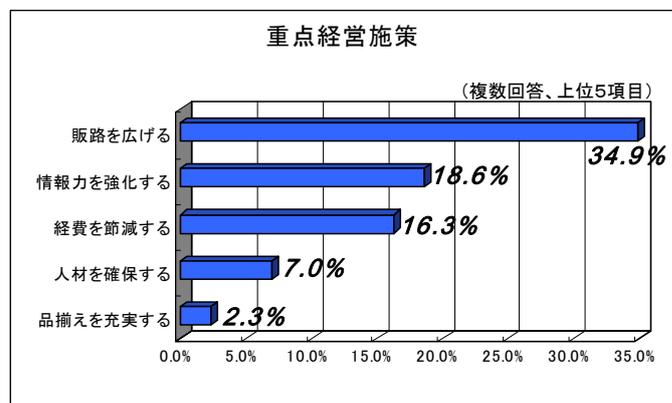
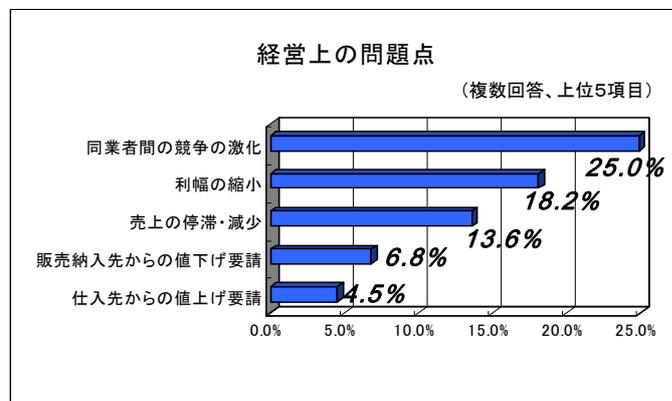
経営上の問題点として挙げられたのは「同業者間の競争の激化」が25.0%と最も多く、次いで「利幅の縮小」18.2%、「売上の停滞・減少」13.6%、「販売納入先からの値下げ要請」6.8%、「仕入先からの値上げ要請」4.5%の順番となりました。

当面の重点経営施策として挙げられたのは「販路を広げる」が34.9%と最も多く、次いで「情報力を強化する」18.6%、「経費を節減する」16.3%、「人材を確保する」7.0%、「品揃えを充実する」2.3%の順番となりました。

DIの構成

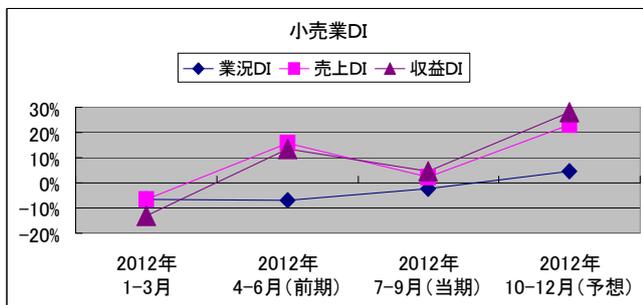


経営課題・重点施策



小 売 業

DIの推移



【業況DI】

業況DIは、対前期比+4.5ポイントの▲2.3となりました。売上・収益ともに低下マインドにあり、利幅の確保を課題として個人消費の冷え込みを不安視する先が多い中、資材等を取扱う一部企業では販売増加を見込んでいる先もあることから、全体での景況感は改善となったようです。今後の業況DIは、対当期比+7.0ポイントの4.7と改善を見込んでいます。

【売上DI】

売上DIは、対前期比▲13.6ポイントの2.3となりました。販売価格DI及び昨年同期比売上額判断DIが低下しており大幅な悪化となったようです。一方、今後の売上DIは、対当期比+21.0ポイントの23.3と大幅な改善を見込んでいます。

【収益DI】

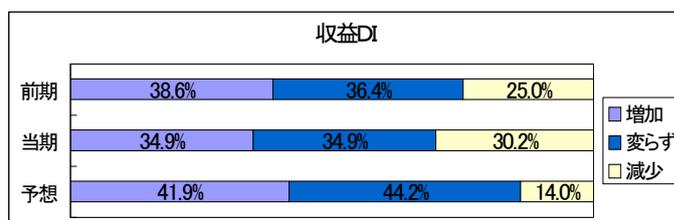
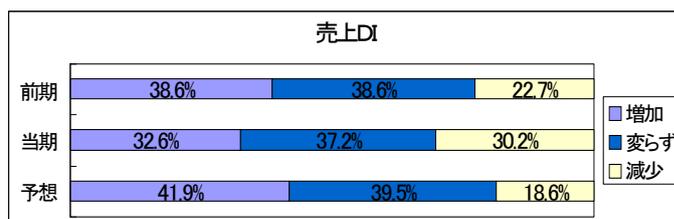
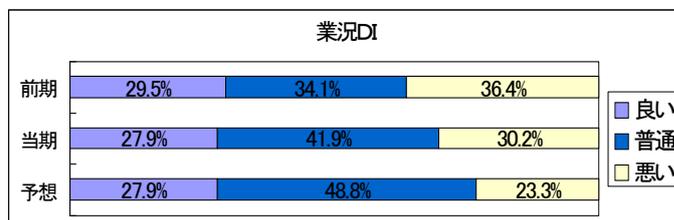
収益DIは、対前期比▲8.9ポイントの4.7となりました。仕入価格DIが低下し収益DIのプラス要因となったものの、売上DI及び昨年同期比収益判断DIが低下しており悪化となったようです。一方、今後の収益DIは、対当期比+23.2ポイントの27.9と大幅な改善を見込んでいます。

【経営課題・重点施策】

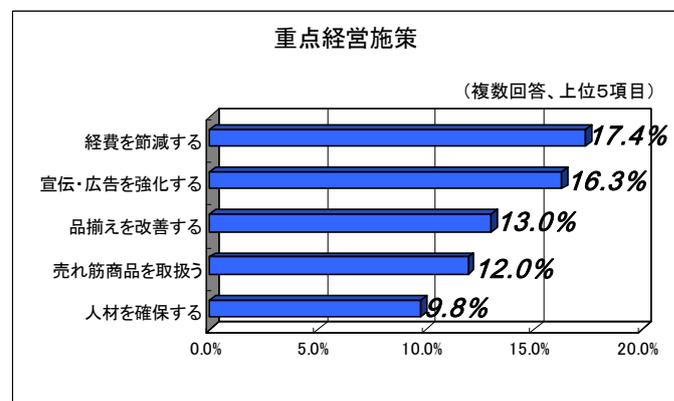
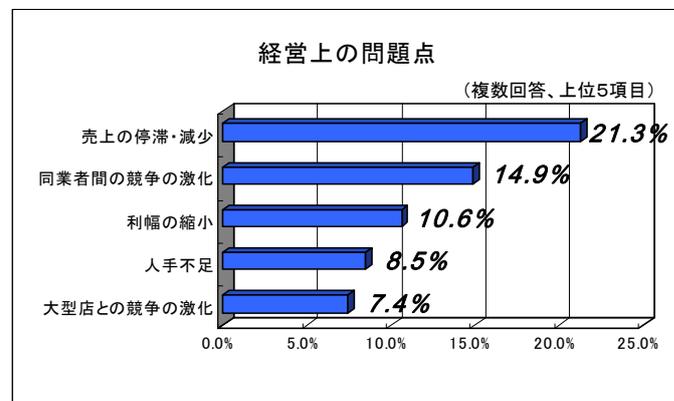
経営上の問題点として挙げられたのは「売上の停滞・減少」が21.3%と最も多く、次いで「同業者間の競争の激化」14.9%、「利幅の縮小」10.6%、「人手不足」8.5%、「大型店との競争の激化」7.4%の順番となりました。

当面の重点経営施策として挙げられたのは「経費を節減する」が17.4%と最も多く、次いで「宣伝・広告を強化する」16.3%、「品揃えを改善する」13.0%、「売れ筋商品を取扱う」12.0%、「人材を確保する」9.8%の順番となりました。

DIの構成

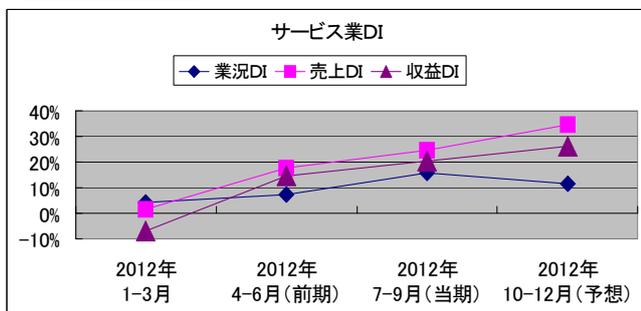


経営課題・重点施策



サービス業

DIの推移



【業況DI】

業況DIは、対前期比+8.5ポイントの15.9となりました。個人消費の冷え込みが懸念されているものの、一部福祉介護等サービスを扱う企業は安定推移を見込んでいるため、全体での景況感は2期連続での改善となったようです。一方、今後の業況DIは、対当期比▲4.3ポイントの11.6と悪化を見込んでいます。

【売上DI】

売上DIは、対前期比+6.9ポイントの24.6と2期連続での改善となりました。料金価格DI及び業況DIが上昇したことから改善となったようです。今後の売上DIは、対当期比+10.2ポイントの34.8と改善を見込んでいます。

【収益DI】

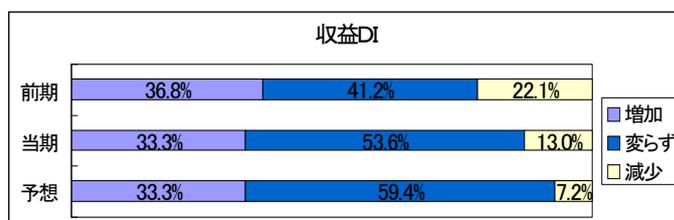
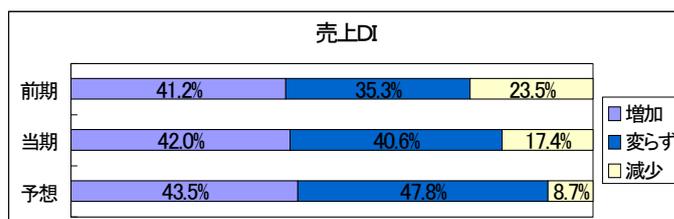
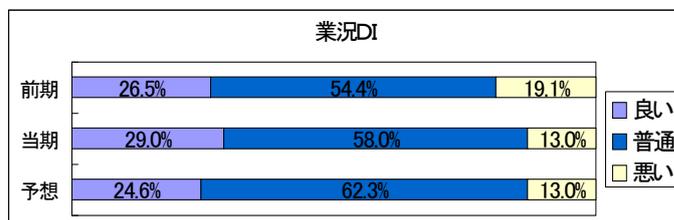
収益DIは、対前期比+5.6ポイントの20.3となりました。昨年同期比収益判断DIが低下したものの、売上DIが改善しており改善となったようです。今後の収益DIは、対当期比+5.8ポイントの26.1と改善を見込んでいます。

【経営課題・重点施策】

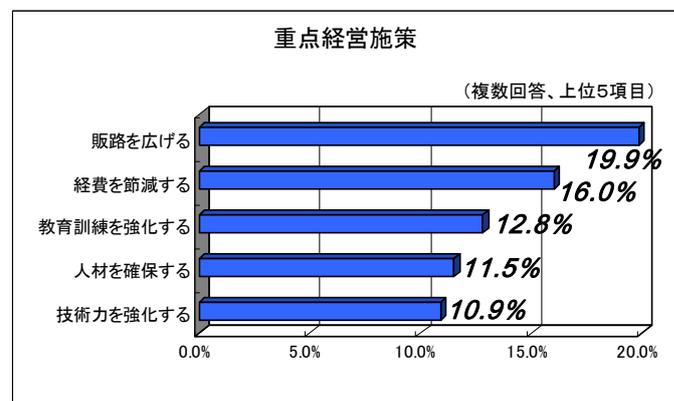
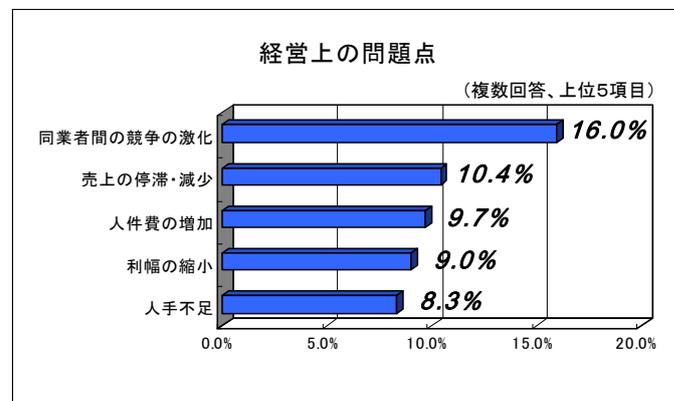
経営上の問題点として挙げられたのは「同業者間の競争の激化」が16.0%と最も多く、次いで「売上の停滞・減少」10.4%、「人件費の増加」9.7%、「利幅の縮小」9.0%、「人手不足」8.3%の順番となりました。

当面の重点経営施策として挙げられたのは「販路を広げる」が19.9%と最も多く、次いで「経費を節減する」16.0%、「教育訓練を強化する」12.8%、「人材を確保する」11.5%、「技術力を強化する」10.9%の順番となりました。

DIの構成

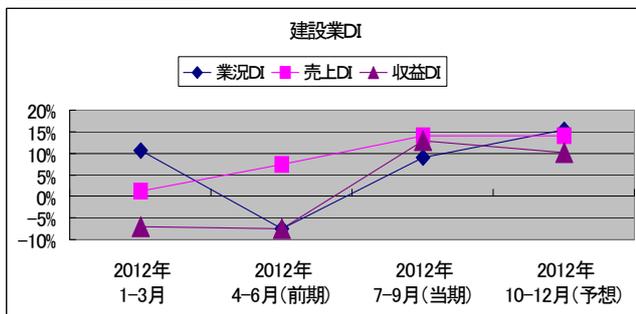


経営課題・重点施策



建設業

DIの推移



【業況DI】

業況DIは、対前期比+16.5ポイントの9.0となりました。利幅の確保を課題とする先が多いものの、受注残DI・施工高DIがともに上昇しており業況感は改善したようです。今後の業況DIは、対当期比+6.4ポイントの15.4と改善を見込んでいます。

【売上DI】

売上DIは、対前期比+6.7ポイントの14.1となりました。昨年同期比売上額判断DIは低下したものの、請負価格DI・施工高DIが上昇しており改善となったようです。今後の売上DIは、対当期比±0.0ポイントの14.1と横ばいを見込んでいます。

【収益DI】

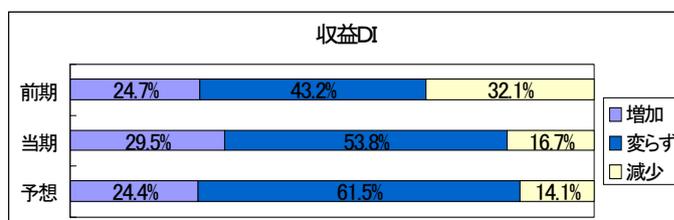
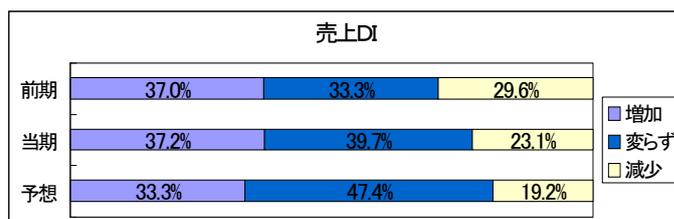
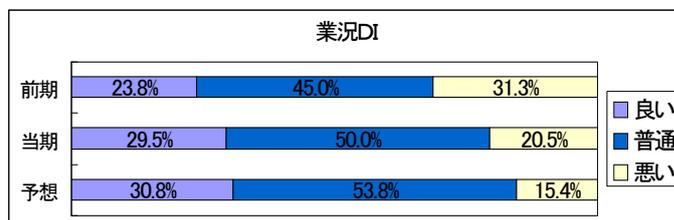
収益DIは、対前期比+20.2ポイントの12.8となりました。売上DIが改善するとともに昨年同期比収益判断DIが全業種の中で唯一上昇しており、大幅な改善となったようです。一方、今後の収益DIは、対当期比▲2.5ポイントの10.3と悪化を見込んでいます。

【経営課題・重点施策】

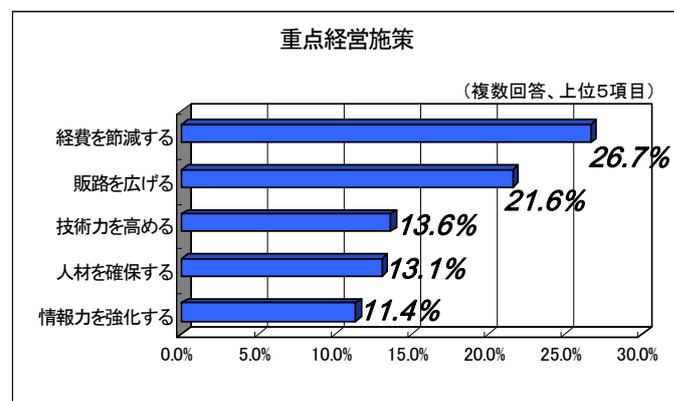
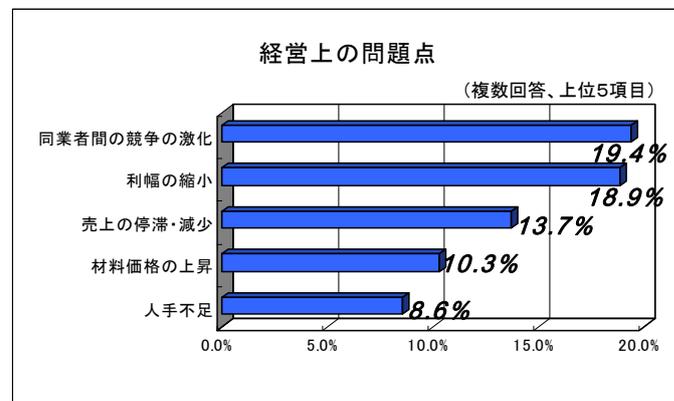
経営上の問題点として挙げられたのは「同業者間の競争の激化」が19.4%と最も多く、次いで「利幅の縮小」18.9%、「売上の停滞・減少」13.7%、「材料価格の上昇」10.3%、「人手不足」8.6%の順番となりました。

当面の重点経営施策として挙げられたのは「経費を節減する」が26.7%と最も多く、次いで「販路を広げる」21.6%、「技術力を高める」13.6%、「人材を確保する」13.1%、「情報力を強化する」11.4%の順番となりました。

DIの構成

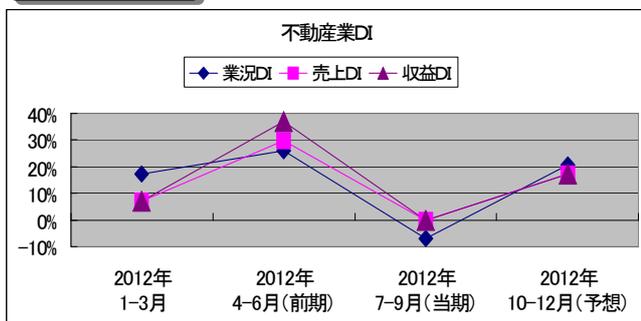


経営課題・重点施策



不動産業

DIの推移



【業況DI】

業況DIは、対前期比▲32.8ポイントの▲6.9となりました。消費税増税に伴う駆け込み需要を期待する一方で、良好物件の確保を課題としている先が多く、全体での景況感は大いに悪化したようです。一方、今後の業況DIは、対当期比+27.6ポイントの20.7と大幅な改善を見込んでいます。

【売上DI】

売上DIは、対前期比▲29.6ポイントの0.0となりました。販売価格DI及び昨年同期比売上額判断DIが低下しており大幅な悪化となったようです。一方、今後の売上DIは、対当期比+17.2ポイントの17.2と大幅な改善を見込んでいます。

【収益DI】

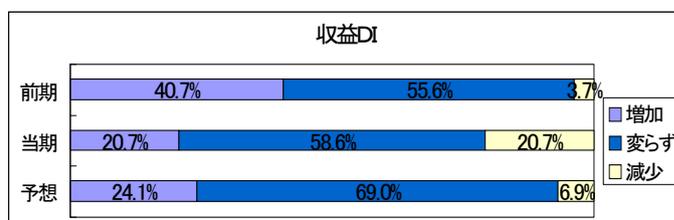
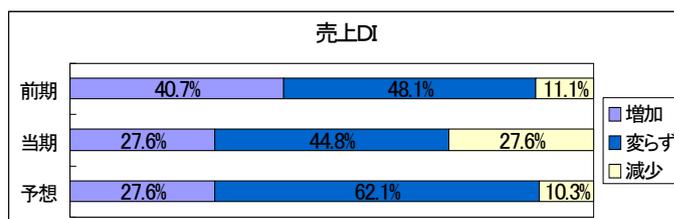
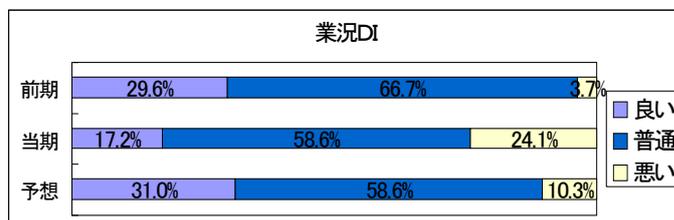
収益DIは、対前期比▲37.0ポイントの0.0となりました。売上DIの大幅な悪化が影響したようです。一方、今後の収益DIは、対当期比+17.2ポイントの17.2と大幅な改善を見込んでいます。

【経営課題・重点施策】

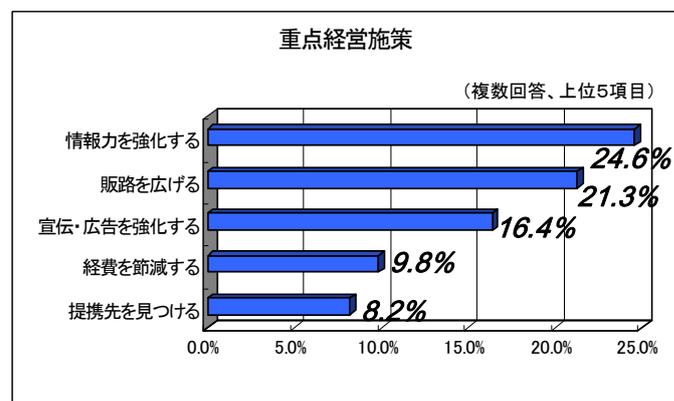
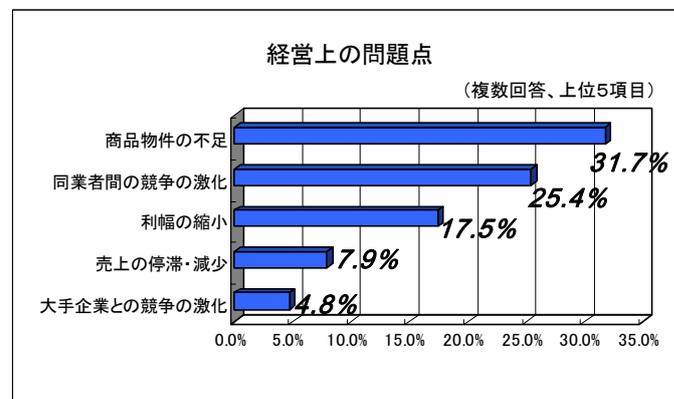
経営上の問題点として挙げられたのは「商品物件の不足」が31.7%と最も多く、次いで「同業者間の競争の激化」25.4%、「利幅の縮小」17.5%、「売上の停滞・減少」7.9%、「大手企業との競争の激化」4.8%の順番となりました。

当面の重点経営施策として挙げられたのは「情報力を強化する」が24.6%と最も多く、次いで「販路を広げる」21.3%、「宣伝・広告を強化する」16.4%、「経費を節減する」9.8%、「提携先を見つける」8.2%の順番となりました。

DIの構成



経営課題・重点施策



特別調査 「中小企業における事業上の情報収集・発信について」

【問1】

Q. 事業展開上の情報収集にあたって、どのような媒体や機関を活用していますか？
(複数回答)

選択肢(上位5項目)	
販売・仕入先	23.0%
インターネット	19.1%
新聞・雑誌	19.0%
テレビ・ラジオ	9.0%
組合や商議所等のコミュニティ	6.4%

【問2】

Q. 取引推進上、どのような情報発信媒体を活用していますか？(複数回答)

選択肢(上位5項目)	
自社ホームページ(ブログ含む)	23.5%
特になし	15.8%
新聞(折込広告含む)・雑誌	13.4%
インターネット(自社ホームページ除く)	11.3%
看板・ポスター	9.9%

【問3】

Q. 取引推進上、活用している情報発信媒体にはどのような効果を期待していますか？

選択肢(全項目)	
新規顧客の獲得	56.4%
情報発信を行っていない	16.2%
知名度・信用力の向上	13.5%
既存取引先との取引拡大・深耕	13.2%
その他	0.8%

Q. 期待している効果(上記)の実現状況は？

選択肢(全項目)	
どちらともいえない	41.0%
おおむね実現している	31.0%
実現していない	15.1%
あまり実現していない	11.7%
期待以上に実現している	1.3%

【問4】

Q. ソーシャルメディア^{※1}を事業上の情報収集・発信に利用していますか？

※1: インターネットを利用してコミュニケーションを促進するサービス

〈利用している場合: 媒体は何ですか?〉

選択肢(全項目)	
SNS(フェイスブックなど)	41.9%
ブログ(アメーバブログなど)	35.5%
その他	16.1%
動画・情報共有サイト (ユーチューブなど)	6.5%

〈利用していない場合: 今後の方針は?〉

選択肢(全項目)	
どちらともいえない	41.7%
今後も利用したくない	30.3%
利用を検討したい	18.9%
あまり利用したくない	6.7%
利用を開始する予定	2.4%

【問5】

Q. 事業上の情報収集・発信において、インターネットを利用する際にどのような課題を感じていますか？(複数回答)

選択肢(上位5項目)	
セキュリティ確保への不安	18.9%
インターネットに長けた人材不足	15.1%
特になし	14.9%
有効に活用するノウハウがない	11.7%
利用による効果が検証できない	11.7%

【本レポートに関するお問合せ先】

平塚信用金庫 総合企画部
平塚市紅谷町11-19
(TEL 0463-24-3039)

